

## アデノウイルスの精製・濃縮キット Vivapure AdenoPACK



独自の膜吸着技術により、アデノウイルス (Ad5) を HEK293 などのパッケージング細胞から迅速かつ簡単に精製・濃縮するキットです。

### 特長

- 試料溶液の清澄化用フィルター、各種バッファー類、濃縮用透析スピナラム (VIVASPIN)、チューブ類がセットになっています。
- エンドトキシンレベルは 0.025 EU/ml 以下に抑えられます。
- ※ ウイルス感染細胞の培養は DMEM/10% FBS を使用し、pH 7.0~7.4、37°C、5% CO<sub>2</sub> の条件下で行って下さい。
- ※ 別途、50 ml 遠心管用スイングバスケットローターを装備した遠心分離機が必要です。

[メーカー：VIV]

品名	Vivapure AdenoPACK				CsCl による従来法
	20		100		
最大試料容量	20 ml×6 回		60 ml×2 回	200 ml	500 ml
所要時間	1 時間		1~2 時間	2 時間	24~48 時間
回収率	65~70%		65%	80%	60~70%
得られるウイルス粒子数	1×10 <sup>11</sup> ~1×10 <sup>12</sup> (試料 20 ml 当たり)		1~3×10 <sup>12</sup> (試料 60 ml 当たり)	1×10 <sup>13</sup>	1×10 <sup>11</sup> ~1×10 <sup>12</sup>
仕様	遠心スピナラム型		シリンジ・ペリスタポンプ対応型		—
付属 Benzonase	120 µl 付属	なし	200 µl 付属	なし	—
商品コード	VS-AVPQ020	VS-AVPQ022	VS-AVPQ101	VS-AVPQ102	—
包装/価格 (¥)	1 kit / 37,500	1 kit / 34,600	1 kit / 67,000	1 kit / 60,200	—

※最大試料容量 500 ml からアデノウイルスを精製・濃縮できるキットもあります。詳細はフナコシ Web をご覧下さい。

※納品にお時間がかかる場合がございます。あらかじめご了承下さい。



## 組換えアデノ随伴ウイルス濃縮試薬

# AAVanced Concentration Reagent

組換えアデノ随伴ウイルス (rAAV) 粒子を濃縮できる試薬です。

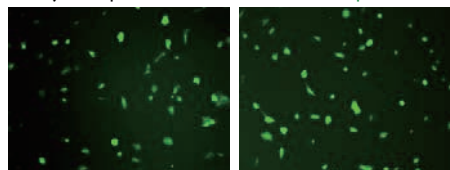
### 特長

- ウイルス産生細胞の培養上清を回収し、遠心 (1,500×g) するだけで rAAV 粒子を濃縮できます。
- 従来の rAAV 粒子の濃縮方法とは異なり、細胞の溶解および CsCl 密度勾配超遠心、クロマトグラフィーまたはアフィニティマトリックスカラムへの結合などは不要です。
- ウイルスを感染させる細胞に対して毒性はありません。

### 使用例

Classic rAAV cell lysate protocol

AAVanced rAAV isolation protocol



rAAV shuttle vector used in comparison tests

ITR PGK Promoter GFP ITR

本製品を用いて濃縮した rAAV 粒子の感染力

PGK プロモーター下で GFP を発現するシャトルベクターを rAAV に導入し、従来法または AAVanced Concentration Reagent により rAAV 粒子を濃縮した。それぞれ同量の rAAV を HEK293 細胞に添加し、10 日後に GFP 発現細胞を観察した。

品名	メーカー	商品コード	包装 / 価格 (¥)
AAVanced Concentration Reagent			
SBI	AAV100A-1		100 ml / 94,000
SBI	AAV110A-1		250 ml / 189,000